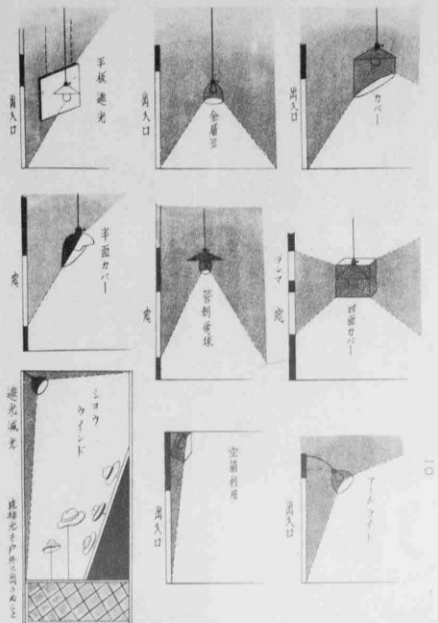


灯火管制

この史料は、群馬県が発行した「灯火管制指導参考」という冊子の中に書かれている図です。空襲に対して、攻撃の目標物を隠すために、灯火管制が行われました。

この図は、住宅・商店・工場・事務所・官公署・学校・病院など屋内施設の屋内灯の管制方法について図で示したものです。遮光・減光をして外に光が漏れないようにする方法を指示しています。光を遮断する材料として、雨戸・黒の洋繻子・ボール紙・黒の木綿布なら2枚・両面を黒く塗った新聞紙なら2枚・両面を黒く塗ったハトロン紙なら3枚・普通の新聞紙なら5枚重ねて使用することとしています。そして、破れ穴や隙間などができないように、しっかりと遮蔽することが重要であるとしています。

法方の(イ)



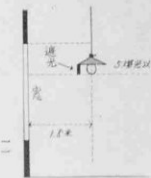
法方の(ウ)



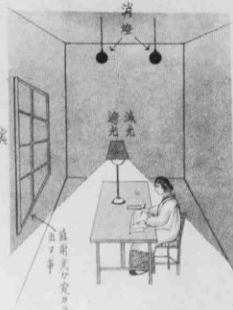
窓上ノ部口箇ノ位置ノ火燈
光線ニ特ラカスルアニナリ
※必要ノ調整



(ウ)の場合には「イ」の場合に比し減光の調整が厳しい代りに遮光の条件が非常に簡便である。従つて遮光することの困難な場合又は急照照明を必要としない場合は(ウ)の方法によれば便利である。



窓上ノ部口箇ノ位置ノ火燈
※其光線ヲカスルアニナリ
ルリ用



従つて遮光することの困難な場合又は急照照明を必要としない場合は(ウ)の方法によれば便利である。